

の「金融緩和の点検」と政策対応を巡り、金融市场で様々に憶測が渦巻いている。日銀は「政策の枠組みを見直さない」としているが、それでも市場の観測をあえておおむかうな予告をしたのは、熟慮を重ねた末の判断だ、との証拠作りを狙っているのだろう。

このタイミングで公表するのにはコロナ問題が影響している。コロナショック後に物価上昇率が大幅に下振れしたことで、2%の物価目標の達成失敗への批判が改めて高ま

大  
小  
機  
器

日銀 情報発信も正常化を

できるだけ避けたい、と日銀は考えているはずだ。コロナショックを受けて日銀は民間金融機関の収益環境への配慮を強めた。特別オペや3月に始める特別当座預金制度などは、金融機関に対する事実上の補助金であり、マニス金利政策などによる収益悪化、金融仲介機能の低下という副作用を軽減する、事実上の正常化策でもある。

「金融緩和の点検」を受けた政策対応はその延長線上となるだろう。金融機関の収益改善につながる長期・超長期の金利、あるいはそれよりも低い金利の上昇を促す措置が

こうした措置の本質は副作用を最小限に抑えることだ。日銀はそれを認めず、2%の物価目標に近づくための措置と説明するだろう。経済活動により影響を与える短期的な金利を新たな目標に据えることで金融政策の効果は高まる。ETFの買い入れを柔軟化することで政策の持続性が高まる、などと前向き感を最大限アピールするはずだ。

政府や市場の反応を恐れる日銀は、異例の金融緩和を実質的には「後退」させながらも「前進」との強弁を続けてきた。今回も同様となるだろう。しかしそうした姿勢は、

鈴木誠氏  
(岡三証券債券シニア・ストラテジスト)

東洋東京証券の佐野一彦氏は「変動幅拡大との見方が市場で意識されるなか、米金利の上昇基調が続けば、国内の長期金利は一時的に0・3%に近づく場面もあるだろう」とみる。

電気機器では、クが6%安、東京エレクトロンは5%安まで売込まれる場面があった。トロンは5%安まで売込まれる場面があった。サービスでは、医療情

サイトのエムスリーが落し、昨年末比の下落は14%弱となつた。

|                                      | 日本            | 米国             | 見通し   |
|--------------------------------------|---------------|----------------|---|
| 佐野一彦氏<br>(東海東京証券チーフ<br>債券ストラテジスト)    | 0.1～<br>0.3%  | 1.25～<br>2.0%  | 日銀が長期金利の変動許容幅を広げるとの見方から、政策点検の結果公表前には米金利につられて国内金利も上昇しやすい |
| 森田長太郎氏<br>(SMBC日興証券チーフ<br>金利ストラテジスト) | 0.05～<br>0.2% | 1.25～<br>1.75% | 国内長期金利は一時的に0.2%を超えることもありうる。0.15%を上回る水準で定着はしないとみている      |
| 鈴木誠氏<br>(岡三証券債券シニア・ストラテジスト)          | 0.05～<br>0.2% | 1.25～<br>1.75% | 金利上昇に伴う株価下落で市場過度な楽観ムードが後退すれば、日米金利の上昇余地は限定的だ             |

日本経済新聞  
変動証券相場を意識する  
日本の長期金利は26日午前に0・175%まで上昇。前日に比べ0・025%高い水準だ。直近で最も高かった18年10月の0・155%をあっさり超えた。きっかけは米長期金利の上昇だ。25日に一時1・61%と、およそ1年ぶりの高水準をついた。野村証券の西川昌宏氏は「米金利の落ち着きどころが見えず、日本国債も買いが入りにくいい」と話す。26日の国内市場では幅広い年限で債券が売られた。もうひとつのが上昇要因は日銀が現在実施する金融政策の点検を受けた政

国内債券市場で長期金利が上昇（債券価格は下落）している。長期金利の指標となる新発10年物国債利回りは26日、一時0・175%をつけた。日銀がマイナス金利政策の導入を決めた2016年1月29日以来の高い水準だ。米国の長期金利上昇と日銀が一定の金利上昇を容認するとの見方から市場では一段高を見込む声も出ている。

麥動諸容幅拵大を意謹

市場、日銀点検巡り思惑

# 長期金利 一段上昇の声

5%高、海外マネー流入

上昇し枚値の重荷となつた。

NYコーヒー豆 上昇  
3年5ヵ月ぶり水準  
日米欧で需要回復期待

日米欧で需要回復期待

ニューヨーク先物(期近)は、25日終値が1ドル15セントと直近2週間で15%上昇し、2017年9月以来3年5カ月ぶりの高値をつけた。

世界消費の7割を占める日米欧を中心で新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、カフェ等外食向けを中心に需要回復するとの期待が相

る。コーヒー豆は主に海上コンテナで輸送される。世界的なコンテナ不足で「豆の到着に遅れや乱れがみられる」(商社)。

# 電機・サービス株下け主導 含み益銘柄、手じまい拡大

感が意識されやすくなる」と指摘する。

焦点になるのは米連邦準備理事会(F.R.B.)の動向だ。S.M.B.C.日興の森田氏は「上昇の勢いが急なため、今後はF.R.B.から行き過ぎた金利高をけん制する発言が出てくるのではないか」との見方を示す。岡三証券の鈴木誠氏も「米長期金利はほぼ限界まで上昇したのではないか。金利上昇に伴う株安で投資家の過度な樂觀ムードが和らぎれば、日米金利の上昇余地は限定的だろう」と話す。点検結果そのものが全

| 月       | 日経平均株価          |
|---------|-----------------|
| 2002年1月 | 27,649.07円(2/1) |
| 2002年2月 | 30,714.00円(2/1) |

産（GDP）も2期連続で高水準のプラス成長となつた。コロナで打撃を受けたサービス業でも回復が顕著になつたことで、景気敏感業種を中心買いられた。

業種別日経平均では月間で36業種中26業種が上昇した。



| 買代金差額            |        | 2月14~20日の対外・対内証券投資 |         |                 |
|------------------|--------|--------------------|---------|-----------------|
| 市場、1、2)          | 証券ベース) | (単位億円、▲は売り越し、△は購入) |         |                 |
| 引第3週 前週          |        | △対外証券投資            |         |                 |
| ▲1335            | ▲4468  | 買い入れ               | 売却      | 差額              |
| 1306             | 165    | 株式                 | 14,564  | 18,512 ▲3,948   |
| ▲382             | 3451   | 中長期債               | 103,876 | 122,806 ▲18,930 |
| ▲129             | ▲107   | 小計                 |         | ▲22,878         |
| ▲206             | ▲282   | 短期債                | 5,272   | 4,371 900       |
| ▲1929            | ▲741   | 合計                 |         | ▲21,978         |
| ▲233             | ▲49    | △対内証券投資            |         |                 |
| ▲1434            | ▲1337  | 株式                 | 125,335 | 124,394 941     |
| ▲264             | ▲1360  | 中長期債               | 27,624  | 24,458 3,166    |
| ▲75              | ▲104   | 小計                 |         | 4,100           |
| ▲4696            | ▲4919  | 短期債                | 63,998  | 46,041 17,957   |
| 4607             | 4644   | 合計                 |         | 22,061          |
| 立億円、億円未<br>△は売越し |        |                    |         |                 |

位が電機(40%高)、3位はサービス(26%高)、20年年間の上昇率では首位はサービス(26%高)、3年5カ月ぶり水準

# NYコーヒー豆 上昇

## 日米欧で需要回復期待

コーヒー豆の国際価格が上昇した。指標となるニューヨーク先物(期近)は、25日終値が1ドラ15セントと直近2週間で15%上昇し、2017年9月以来3年5カ月ぶりの高値をつけた。

世界消費の7割を占める日米欧を中心に新型コロナウイルスのワクチン接種が始まり、カフェ外食向けを中心で需要が回復するとの期待が相場



| 部門別売買代金 |        | 2月の手形交換             |        |        |         |     |
|---------|--------|---------------------|--------|--------|---------|-----|
| ▲は売り越し  |        | (速報値、カッコ内は前年同月比増、▲は |        |        |         |     |
| 3週      | 前週     | 「…交換高…」             |        | 枚 数    | 金額      | 不渡り |
|         |        | (千枚)                | (億円)   |        |         |     |
| 2431    | ▲6768  | 大 阪                 | 390    | 8,948  | 31      |     |
| 3249    | ▲13925 |                     | (▲6.4) | (1.6)  | (▲51.8) | (▲  |
| 3818    | 7157   | 名古屋                 | 222    | 4,788  | 9       |     |
| 1764    | 7795   |                     | (▲3.5) | (▲2.7) | (▲62.5) | (▲  |
| 2950    | ▲79658 | 福 岡                 | 52     | 2,095  | 1       |     |
| 1588    | ▲1545  |                     | (3.5)  | (▲0.9) | (▲93.3) | (▲  |
| 1503    | 478496 |                     |        |        |         |     |
| 814     | 78593  |                     |        |        |         |     |

石油など割安に放置され、いた一部業種に買戻しの動きが続いている。しかし、供給減の観測も広がる。コーヒー豆は主に海上コンテナで輸送される。世界的なコンテナ不足で「豆の到着に遅れや乱れがみられる」(商社)。京灯油が532。減(%)  
銀行取引  
停止件数  
2  
▲83.3)  
0  
100.0)  
0  
100.0)